

佐藤 雅彦 氏が私に教えたこと

私は佐藤 雅彦氏がどんな経歴でどんな活動歴の方が全然知りませんでした。全く恥ずかしいことです。佐藤 雅さんの HP を開いて仰天しました。HP に掲載の NHK のビデオを拝聴して理解を深



めました。また左記の写真の通り 2015 年日本医学ジャーナリスト協会から表彰された書籍も発行されておられ、2 度目の驚きです。(左から 2 番目が、頼もしい姿の佐藤 雅彦氏)

ゆきさんの司会で佐藤 雅彦氏の活動歴の解説を始めると、教室はシーンと静まり返り、私は耳を疑いました。

ゆきさんが、マサさんを認知症と紹介されて、それなのに、ご講演の内容が余りにも理論的で、人生訓だったからです。

現在私は 81 歳で主な業務は NPO 法人京都がん医療を考える会の理事長と当大学大学院生です。年齢に似合わず、利己的で他人への思いやりが無く、時々会員の女性と論争して怒らせています。このため人格を直そうとお寺で座禅を 1 年間経験しましたが治らず苦難の道を歩いています。

そんなときに佐藤 雅さんの解説を拝聴して、何故そのようなことが出来るか理解出来ませんでした。私が最も恐れていることは①認知症になること ②がんの再発です。マサさんはもの忘れ対策としてスマホを利用されていますが、私は PC、紙と黒板で、1～2 ヶ月の計画は A 4 の紙に書き、1～2 日の短期は黒板に書いていますが、それでも時々ミスがあり慌てています。

しかし、人格問題の解決策は対策がありません。

例えば、①感謝の気持ちを持って生きる②他人の意見を聞く③困難が伴った道は開ける④感謝の気持ちを持つ 等列挙すればきりがありません。また自立の道として①病気をくよくよしても仕方がない②夢をもつ③他人の助けを求める④何もしないと能力が低下する 等です。これらの対策をどのようにして習得するかです。マサさんはかつて数学の先生で、システムエンジニアただただあって物事を理論的に処理されます。これらのことができる人は少数です。部屋の清掃や食事の準備が面倒なことは高齢者の男子であれば全く自然なことです。

マサさんが私に教えたてくださったことは①他人は他人②高齢者の私も「夢」をもつ③常にそれを実現させる④余生を希望を持って生きることだと結論づけました。その夢は人に役立つことだと思います。私の夢は当大学院を卒院して、習得した知識と知恵を広く活用して NPO 法人・京都がん医療を考える会を通じ京都府民の皆様へ「がん対策」の重要性について広報活動することです。

私は幸いにも京都から通学して夢を実現させる可能性があるにもかかわらず、不平を言っていました。しかしマサさんの講話によってこの不平は霧散しての感謝の気持ちが溢れています。

《ゆきさんへ》 後期もまたゆきさんの類まれなる授業を受ける幸せを感じています。高齢の私にとってゆきさんは正に「生きる授業」です。このためレポートを作成するのが楽しみです。決してお世辞ではありません。今日の授業で貴重な情報は①井上ひさしさんの言葉②来年開催される「えにし」を結ぶ会に参加できることです。 ありがとうございます。